

日本一 相模の大凧まつり

2006年5月4日(木)、5日(金) 10時-16時

題字「新相」 祝・新「相模原市」誕生



大凧まつり出演団体

5月4日

相州太鼓保存会
相模龍王太鼓保存会

5月5日

新戸囃子保存会
新戸寿会

写真: 2005年大凧「輝翔」

主催: 相模の大凧まつり実行委員会・新戸大凧保存会

協力: 新戸自治会連合会 相模原商工会議所青年部

特別協賛: 城南建設(株)住宅情報館

1 相模の大凧とは

相模の大凧とは、神奈川県中央部に位置する相模原市の新磯(新戸、上磯部、下磯部、勝坂)地区で、相模の大凧文化保存会によって揚げられている大凧のことです。毎年5月4日、5日に、「相模の大凧まつり」として開催されています。

平成17年年5月の相模の大凧まつりの大凧の大きさは、次のとおりです。

- ・新戸……8間(14・5m)四方
- ・上磯部……6間(11・2m)四方
- ・下磯部……6間(10・8m)四方
- ・勝坂……5間(9・0m)四方

大凧の材料は、竹と和紙です。竹を組み合わせて、正方形の凧の骨組みを作って反りを入れ、そこに和紙を張り合わせて作った16枚の紙を貼って揚げます。紙は着脱可能で、伝統的に2文字の漢字を赤と緑で書き表します。いわゆる「字凧」です。大凧と紙は、毎年作り替えます。

現在、前記4地区の大凧はいずれも相模川の河原に沿った会場で揚げられており、少し南側の座間市の会場でも、同じ日に座間市主催の「座間の大凧まつり」が開催されます。

2 相模の大凧の由来と歴史

◆江戸時代から

相模の大凧の歴史は、江戸時代の天保年間(一八三〇〜一八四三年)頃からと言われ、本格的に大凧になったのは明治時代中期頃からと言われています。

当初は個人的に子どもの誕生を祝って揚げられていたものが、次第に地域的な広がりを持つようになり、豊作祈願や若者の意思や希望の表示、さらには国家的な意思を題字に込めて揚げられるようになったようです。

2004年「祝相」



新戸の大凧の大きさ

項目	内容
大きさ	8間(14.5メートル)四方 64坪 128畳
重さ	約950キログラム
引き綱の長さ	約200メートル
引き綱の太さ	直径3〜4センチメートル
しっぽの長さ	85メートル
凧揚げに必要な人員	80〜100人
凧揚げに必要な風速	秒速10〜15メートル



近年のトピックス

年	近年のトピックス
平成16年	・相模の大凧文化保存会が神奈川県文化賞を受賞 ・相模原市市制50周年を記念して相模の大凧文化保存会が全国凧揚げ大会を開催
平成15年	・相模の大凧センターが完成
平成7年	・ハワイのホノルルフェスティバルに参加
平成6年	・相模の大凧文化保存会が発足、第1回相模の大凧まつり開催、新戸地区で8間凧を揚げる
平成5年	・新戸地区で7間凧を揚げる
平成4年	・新戸地区で5間凧を揚げる
平成3年	・相模原市の友好都市であるカナダのスカボロー市の記念行事に参加 ・毎年4地区で凧揚げ開始、新戸大凧保存会が発足、新戸地区で3間半の凧を揚げる
平成2年	・相模原市の友好都市である中国の無錫市で大凧を揚げる ・「関東の大凧揚げ習俗」が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選定
昭和57年	・「かながわのまつり五十選」に選定
昭和52年	・「かながわの民俗芸能五十選」に選定

2003年「躍進」



相模の大凧ホームページ

新戸大凧保存会では、「相模の大凧 新戸大凧保存会」公式サイトおよび公式ブログを開設しました。

公式サイトURL <http://www.sagami-oodako.com/>

公式ブログURL <http://sagami-oodako.at.webry.info/>

公式サイトでは、8間凧を揚げる迫力ある動画、大凧まつりや大凧製作の記録写真、過去の題字、大凧まつり案内、大凧保存会活動などを紹介しています。また公式ブログでは、3〜5月の大凧製作および大凧まつり情報をいち早く発信しています。ぜひアクセスして楽しみください。

ケータイサイトURL <http://www.sagami-oodako.com/m>
ケータイのブログも開設しています。ケータイから右のバーコードを読み取ってアクセスしてください。



(ケータイサイト)



◆昭和に入ってから

昭和に入り、新磯青年団が主催して、ほぼ毎年、新戸、上磯部、下磯部、勝坂の4地区で一齐に揚げられてきました。昭和44年からは、相模原市の4大観光行事の一つに選定され、この4地区が毎年交代で主催となつて揚げるようになりました。この結果、それぞれの地区は4年に一度だけ大風を揚げることになり、技術の保持、継承が危惧されるようになりました。

◆平成3年以降

そこで、平成3年からは毎年4地区で一齐に揚げるようになり、4地区に大風保存会が発足しました。さらに平成6年には4地区の大風保存会の上位組織・連絡組織として「相模の大風文化保存会」が発足、相模の大風文化保存会の主催で第1回「相模の大風まつり」を開催しました。この年から新戸大風保存会は8間風を揚げるようになりました。

3 相模の大風の題字の変遷

相模の大風は、伝統的に2文字の漢字を赤と緑で書き表します。これを「題字」と呼んでいます。

現在でも、子どもが生まれたお祝いに、生まれた子ども名を風に書いて揚げるということがありますが、長い歴史の中で相模の大風が地域的な行事になるにつれて、大風の題字には社会的な要素が含まれるようになりました。

相模の大風の題字の変遷には、それぞれの時代の気分や人々の思いが込められています。

太平洋戦争時には「国威」「神風」等戦争色を表した題字も見られますが、戦後は風や光のような自然を表現した題字が多く用いられています。平成8年の相模の大風まつりからは題字は市民からの公募により決定しています。平成18年は市町合併による新しい相模原市の誕生を祝って「新相」が題字となりました。

年	題字	題字(ふりがな)	主な出来事
昭和41年	祥風(新戸)	しょうふう	
昭和40年	[中止]		
昭和39年	祝輪(新戸)	しゅくりん	東京オリンピック開催
昭和38年	[中止]		
昭和37年	瑞暎(新戸)	ずいぎょう	
昭和34年	節風(上磯部)	せつふう	
昭和33年	雄進(上磯部)	ゆうしん	
昭和32年	風雲(上磯部)	ふううん	
昭和31年	蚊龍(上磯部) 飛龍(下磯部)	こうりゅう、 ひりゅう	
昭和30年	飛燕(上磯部) 奉龍(下磯部)	ひえん ほうりゅう	
昭和29年	香風(上磯部) 若雄(下磯部)	こうふう じゃくゆう	
昭和28年	琢磨(新戸) 瑞雲(上磯部)	たくま ずいうん	
昭和27年	精進(新戸)	しょうじん	
昭和26年 (1951年)	紅雲(上磯部)	こううん	
昭和25年	龍風(新戸) 優進(上磯部)	りゅうふう ゆうしん	
昭和24年	慶風(新戸) 緑風(上磯部)	けいふう りよくふう	
昭和23年	薫風(新戸) 協栄(上磯部)	くんぷう きょうえい	
昭和22年	龍翔(新戸) 新興(上磯部)	りゅうしょう しんこう	
戦時中	国威(不明) 神風(上磯部) 勇進(上磯部)	こくい、 かみかぜ ゆうしん	
昭和17年	必勝(不明)	ひっしょう	
昭和16年 (1941年)	翼賛(下磯部)	よくさん	
昭和15年	戦捷(不明)	せんしょう	
昭和14年	忠武(不明)	ちゅうぶ	
昭和13年	研磨(不明)	けんま	
昭和12年	国光(上磯部)	こくこう	
昭和10年	奉迎(新戸)	ほうげい	
昭和9年	祝誕(不明)	しゅくたん	皇太子殿下御誕生
昭和7年	呑遊(不明)	どんゆう	満州国皇帝来日
昭和5年	鳳翔(新戸) 更正(不明)	ほうしょう こうせい	
昭和4年	待喜(不明)	たいき	
昭和3年 (1928年)	祝祚(不明)	しゅくさく	
大正8年	平和(不明)	へいわ	
大正6年	春光(不明)	しゅんこう	
大正4年 (1915年)	倭魂(不明)	やまとだまし	
明治38年 (1905年)	凱旋(不明)	がいせん	日露戦争の勝利
明治28年 (1895年)	祝勝(新戸)	しゅくしょう	日清戦争の勝利
明治20年 (1887年)	儲と大当たり (不明)	もうけ	養蚕の大当たり

年	題字	題字(ふりがな)	主な出来事
平成18年 (2006年)	新相	しんそう	新しい相模原市の誕生
平成17年	輝翔	きしょう	
平成16年	祝相	しゅくそう	相模原市制50周年 全国風揚げ大会開催、 神奈川県文化賞受賞
平成15年	躍進	やくしん	相模原市が中核市へ移行
平成14年	祝風	しゅくふう	2002年FIFAワールドカップ 韓国/日本大会
平成13年 (2001年)	紀風	きふう	新世紀
平成12年	龍風	りゅうふう	
平成11年	翔風	しょうふう	
平成10年	相風	そうふう	
平成9年	相模	さがみ	
平成8年	輝風	きふう	
平成7年	春風	しゅんぷう	
平成6年	新風	しんぷう	相模の大風文化保存会が発足 第1回相模の大風まつり開催
平成5年	慶祝	けいしゅく	皇太子殿下御成婚 新戸大風保存会が発足
平成4年	新磯	あらいそ	新磯小学校百周年記念
平成3年 (1991年)	翔鳳	しょうほう	この年より毎年4地区で風揚げ
平成2年	平成(上磯部)	へいせい	
平成1年	[中止]		
昭和63年	飛龍(新戸)	ひりゅう	
昭和62年	[中止]		
昭和61年	瑞風(上磯部)	ずいふう	
昭和60年	勇翔(下磯部)	ゆうしょう	
昭和59年	新風(新戸)	しんぷう	
昭和58年	勝光(勝坂)	しょうこう	
昭和57年	緑風(上磯部)	りよくふう	
昭和56年 (1981年)	清風(下磯部)	せいふう	
昭和55年	雄進(新戸)	ゆうしん	
昭和54年	勝和(勝坂)	しょうわ	
昭和53年	陽光(上磯部)	ようこう	
昭和52年	瑞光(下磯部)	ずいこう	
昭和51年	龍進(新戸)	りゅうしん	
昭和50年	和風(勝坂)	わふう	
昭和49年	飛鳳(上磯部)	ひほう	
昭和48年	雄輝(下磯部)	ゆうき	
昭和47年	新進(新戸)	しんしん	
昭和46年 (1971年)	勝進(勝坂)	しょうしん	
昭和45年	勇進(上磯部)	ゆうしん	
昭和44年	新進(下磯部)	しんしん	この年より4地区持回りで風揚げ
昭和43年	雄風(新戸)	ゆうふう	
昭和42年	[中止]		